

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-120163

(43)Date of publication of application : 06.05.1997

(51)Int.CI.

G03F 7/11
G03F 7/004
H01L 21/027

(21)Application number : 08-230097

(71)Applicant : BREWER SCI INC

(22)Date of filing : 30.08.1996

(72)Inventor : ARNOLD JOHN W
TERRY LOWELL BREWER
SUMALEE PUNYAKUMLEARD

(30)Priority

Priority number : 82 431798 Priority date : 30.09.1982 Priority country : US

(54) ANTIREFLECTION COATING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a thin and uniform coating which has strong adhesion property with an integrated circuit board and produces little residue as well as it has high absorption of light to avoid influences of static waves in the production of an integrated circuit.
SOLUTION: This coating film contains a dye and one or more kinds of vehicles selected from polymers or copolymers of polyamide acid or combination of these. The vehicle is dissolved in a solvent having low surface energy selected from alcohols, aromatic hydrocarbons, ketones or esters or combination of these.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.08.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2748114

[Date of registration] 20.02.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right] 29.09.2003

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-120163

(43)公開日 平成9年(1997)5月6日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 03 F 7/11	503		G 03 F 7/11	503
7/004	506		7/004	506
H 01 L 21/027			H 01 L 21/30	576

審査請求 有 発明の数1 OL (全8頁)

(21)出願番号	特願平8-230097
(62)分割の表示	特願平5-196996の分割
(22)出願日	昭和58年(1983)9月29日
(31)優先権主張番号	431,798
(32)優先日	1982年9月30日
(33)優先権主張国	米国(US)

(71)出願人	593150287 ブリューワー・サイエンス・インコーポレイテッド アメリカ合衆国 ミズーリ65401 ローラ ボックス ジー ジー (番地なし)
(72)発明者	ジョン・ダブリュー・アーノルド アメリカ合衆国 ミズーリ州65401 ローラ、フォーラムドライブ 1811
(72)発明者	テリー・エル・ブリューワー アメリカ合衆国 ミズーリ州65401 ローラ、ルート2、ボックス 495
(74)代理人	弁理士 鈴木 弘男

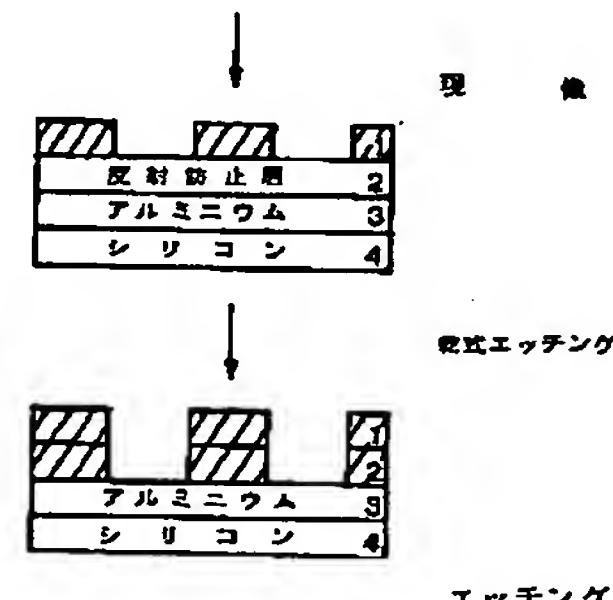
最終頁に続く

(54)【発明の名称】反射防止コーティング

(57)【要約】

【目的】光吸収が強いために集積回路製造時の定存波の影響をなくすことはもちろんのこと、集積回路基板との接着性が強く、薄くて均一な残渣の少ない反射防止コーティングを提供する。

【構成】ポリアミド酸の重合体、その共重合体およびそれらの組み合わせよりなる群から選ばれた1種またはそれ以上のベヒクルと、染料とを含有し、前記ベヒクルがアルコール、芳香族炭化水素、ケトンおよびエステルまたはそれらの組み合わせよりなる群から選ばれた低い表面エネルギーを有する溶媒に溶解されている反射防止コーティング。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 露光した光の基板からの反射を防止し、反射光による定在波効果を除去し、ホトレジストに所定のシャープな像を形成させるために使用する集積回路素子製造用の反射防止コーティングであり、(a)集積回路素子に被覆し、所定の温度で焼付けた後ホトレジストで被覆し、(b)前記ホトレジストをバターン露光し、(c)前記ホトレジストを現像し、所定のバターンを該ホトレジストに形成し、(d)プラズマイオンまたは電子ビームによりバターンの下に残るコーティング層をエッチング除去し、定められたバターンを基板中に転写するのに有効なプラズマエッティング性の高い樹脂よりもなるベヒクルと露光波長の光を吸収する染料との組み合わせからなり、前記染料と前記ベヒクルとの組合せが低表面(界面)エネルギーを有する溶媒に溶解されていることを特徴とする反射防止コーティング。

【請求項2】 前記ベヒクルが、ポリイミド、その共重合体、ポリイミドの前駆体、その共重合体、二酸化硫黄の重合体および共重合体、ハロゲン化重合体および共重合体、ポリアセタールおよびアセタール共重合体および α -置換ビニル重合体および相当する重合体およびそれらの組み合わせよりなる群の1種またはそれ以上である請求項1に記載の反射防止コーティング。

【請求項3】 前記溶媒が、アルコール、芳香族炭化水素、ケトンおよびエステル溶媒およびその組合せよりなる群の1種またはそれ以上からなる溶媒を大きな比率で含む請求項1に記載の反射防止コーティング。

【請求項4】 前記染料が、クルクミンおよびその誘導体およびその均等物、ビクシンおよびその誘導体およびその均等物、クマリンおよびその誘導体およびその均等物および相当する有機ハロゲン化、ヒドロシリ化およびカルボキシル化染料およびその組合せよりなる群の1種またはそれ以上である請求項1に記載の反射防止コーティング。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は反射防止コーティング、特にホトリソグラフィ法によって集積回路素子を製造するのに好適な反射防止コーティングに関する。

【0002】

【従来の技術】複雑な集積回路を使用したシステムが小型化すると、小さいサイズのチップ上にますます複雑な回路を転写することが要求されるようになってきた。このようなサイズの減少または容量の増加は、その産業分野における技術上の限界にきている。したがって、標準的技術により製造される最も進歩した集積回路チップの歩留りは、より小さい容積の中により大きい容量を入れようという試みのために極めて低く、1%の程度である。今日の産業界により要求されている容量の水準においては、現在のホトリソグラフィ法では現在の約1%以

上には完全な動作可能な構造を製造することはできない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この問題は大部分は使用される写真プロセスの限界に由来する。要求される顕微鏡的水準においては、チップ材料例えばシリコンの層は完全には平滑および偏平ではない。更に、不均一な下地形状は、チップ各層に塗布される光感受性物質の像形成に使用される光の波長に近似した大きさのものである。光感受性物質の像形成に使用される光はチップ物質の基材すなわちシリコンウェーハーから反射される。この反射は不均一な下地形状の影響を受けて像形成物質中に不均一な光の分布を生ぜしめ、現像画像中に多数の人為的欠陥を生ぜしめる結果となる。これらの人為的欠陥は現在の技術により構成されるすべての半導体構造物に多数の不合格品を生ぜしめる。

【0004】この人為的欠陥を除外または減少させることができるとならば集積回路チップの歩留りを上昇させて効率を大幅に向上し、製造コストを減少させる結果となることは明白である。

【0005】最近、反射光が原因で生ずる人為的欠陥を減少させる多数の試みがなされている。米国特許4,102,683号明細書はそのような試みの一つを論じている。その他の議論は「IEEE Transactions on Electron Devices」第28版、第11号、第1405~1410頁(1981年11月)、および「Journal of Applied Photographic Engineering」第7巻、第6号、第184~186頁(1981年12月)にあるブリューワー等による「正のホトレジストにおける定在波効果の減少」および「Kodak '80 Interface」1980年10月版、第109~113頁にあるカールソン等による「集積回路における1ミクロン線の制御」に見られる。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明者らは集積回路の製造に有用な改善されたホトリソグラフィ法、その中に使用するための改善された反射防止性物質およびそのような物質を使用した集積回路を発見した。本発明は、ウェーハ表面およびホトレジスト表面からの内部反射による劣化的作用を除外した反射防止コーティングを使用する。本発明の物質は以前に知られていたものよりも一層良好な接着性と、より大なる光吸収を与え、より薄くてより均一なコーティングを与え、現像が一層制御され、工程段階がより少なくなる。本発明の反射防止コーティングは集積回路製造法におけるホトレジストに適合し、且つそれに像形成が可能である。コーティングは現像後には集積回路ウェーハ上により少ない残渣しか残さない。

【0007】

【作用】本発明は低い表面(界面)エネルギーを有する一般的有機溶媒の使用を可能ならしめるべく改質され、

そしてウェーハ表面に強固に結合した薄いそして一定したコーティングを生成しうる重合体構造を使用している。適切な重合体および共重合体としては、低い表面エネルギーを有する溶媒例えばアルコール、芳香族炭化水素、ケトン、およびエステル溶媒により可溶性のポリアミド酸およびその均等物である。ここでいうポリアミド酸重合体および共重合体は、トルエンジアミン、キシリルジアミンおよびその他のアリールジアミンおよび脂肪族ジアミンと脂肪族および芳香族側鎖基または類似基を有する脂肪族または芳香族酸二無水物の重合体でありうる。これら重合体に関してはコーティングをウェーハに定着させる焼付け温度の変動に対してその速度が余り敏感でないために、これらの物質は例えば、反射防止層の現像速度に対してより有効な制御を与える。これらジアミン、酸二無水物および相当する物質により構成された重合体はまた、集積回路の製造に使用される表面をより均一に、より少ない欠陥を持ってコーティングさせ、これらの表面に対してより良好な接着性を有している。これらポリイミドまたはポリアミド酸から現像後に残る残渣は問題とならない。その理由はそれら残渣は容易に除去されるからである。

【0008】4, 4'-オキシジアニリンとベンゾフェノンテトラカルボン酸二無水物およびピロメリット酸二無水物の重合体を包含した反射防止コーティングの生成させることは以前に試みられた。しかしながらこれら物質は満足すべき反射防止コーティングの生成においては有効ではなかった。これらポリイミド前駆体に対する標準溶媒は大きな表面エネルギーを有しており、小さな凹部分には入っていかず、その結果集積回路の多くの部分が基材の形状変化の故にコーティングされずに残される。以前に試みられたこれらの物質に対して必要な従来の溶媒は、例えばN-メチルピロリジノン、ジメチルホルムアミドおよびジメチルスルホキサイドのような高度に極性の溶媒である。前記のポリアミド酸の溶解に必要とされたこれら溶媒は非常に高い表面エネルギーを有しており、そのために集積回路チップによくある小さな凹部または溝はコーティングされない。そのような高い表面エネルギーを有するこれらの高度に極性の溶媒を除外するかまたはその比率を大きく減少させ、低表面エネルギー溶媒例えばアルコール、芳香族炭化水素、ケトンまたはエステル溶媒に可溶性の系を利用することによって溶液の表面エネルギーは減少し、全ウェーハ表面をコーティングおよび平面化させる。本発明の反射防止コーティングにおける他の改良点は、コーティング中に水溶性成分を任意に導入できる点である。これら成分は例えばポリビニルピロリジノンおよび相当する重合体である。水溶性成分は焼き付け条件例えば温度の変動よりもたらされる反射防止層の除去速度の変動を軽減する。

【0009】本発明の新規な物質は改善された染料化合物を包含してもよい。特に染料クルクミン (C.I.No.753

00) または相当する誘導体およびその組み合わせた物を反射防止コーティングに包含させると、コーティングの吸収性能が改善される。これらの染料および関連する染料は上に載せたホトレジストを通常露光せしめるスペクトル域 (436, 405 μm) を強く吸収し、これらは染料のヒドロキシル基の故に一般に使用されるアルカリ性ホトレジスト現像液で除去することができる。この組み合わせは迅速なそして一貫した像形成を可能ならしめる。コーティング溶媒中での染料の優れた溶解性および染料の強い吸収は非常に薄いコーティングの使用を可能ならしめる。他の染料を使用して試みられたコーティングは大きい吸光係数を有していなかった。すなわちそれらは染料1分子当たり多くの光は吸収せず、またはそれらは多くの染料に関して共通の問題であるように、コーティングに使用される有機溶媒中に充分に可溶性ではなかった。染料の限られた溶解性の故に、本質的にすべての反射された光を吸収させるに充分なだけコーティングすることができず、そして例えば定在波のようなその効果がホトレジスト中にまだ存在していた。さらに以前の染料とベヒクルとの組み合わせは本発明のような像形成可能な層を生成させることに対して有効ではなかった。像形成可能な層を生成させようというこれまでの試みは、生成されるコーティングの結果例えばピンホールの故に有効でない生成物を与える結果に終った。従来のコーティングは像形成性において信頼できず、一貫性がなくそして信頼できない工程特性を有し、例えば温度焼付け幅が狭く、処理後には望ましくない残留物を残した。より厚いコーティングを使用してこれらの欠点を調整しようとする試みは有効ではなかった。本発明のコーティングは像形成において有効であり、厚いコーティングは必要とせず、望ましくない残渣を後に残さない。

【0010】本発明による反射防止コーティングは、ビクシン (べにの木抽出物) またはその他の相当する誘導体、例えばノルビクシンを任意に添加することによりさらに有効とすることができます。クルクミン誘導体のようにこれら染料はホトレジストの露光されるスペクトル領域で強く吸収する。これら染料はまたレジスト現像液により容易に除去され、これら染料のカルボキシル基およびその他の特性は焼き付け温度の変化による反射防止層の除去速度の変動を少なくする。

【0011】本発明による反射防止コーティングはまた製造工程においてパターン画像形成を可能ならしめる乾式エッティング形態でも使用することができる。この形態においては、使用されるベヒクルは乾式処理すなわちプラズマイオンまたは電子ビームによって迅速に除去される。ホトレジストに像形成させた場合、その像是その系を短時間乾式エッティングにかけることによって容易に且つ迅速に反射防止層に転写される。反射防止コーティングを製造しようとするこれまでの試みにおいては、乾式エッティング画像形成を生成させるためには中間層 (プラ

ズマによって容易には除去されない物質の第3の層)の使用が試みられた。ホトレジストをエッチングしそして完全にかまたはほとんど除去する2層使用系もまた試みられた。この第2の方法においては、下にある平坦化作用層はホトレジストの同時的エッチングを阻止するに充分なほどにはエッチングが速くない。

【0012】本発明による乾式エッチング可能な反射防止コーティングはウェーハの表面を平坦化させそしてホトレジストを通過した光を吸収する比較的厚い重合体層である。中間のエッチング抵抗層は必要とされない。その理由は光吸収性平坦化作用層はパターン形成されたホトレジスト層をそれほど失わずに乾式法で非常に迅速に除去されるからである。

【0013】この迅速エッチング反射防止コーティングには前記染料および重合体を使用しうる。この重合体としては、ポリスルフォンの共重合体例えばボリ(ネオベンチルスルホン)、ポリブテン-1-スルホン、ハロゲン化重合体および共重合体例えばボリ(ビニリデンクロリド-ビニルアセテート)、ボリ(エピクロロヒドリン)、塩素化ポリエチレン、臭素化および塩素化ボリイソブチレン、ハロゲン化アクリレート重合体およびハロゲン化メタクリレート重合体およびそれらの共重合体、ポリアセタールおよびアセタール共重合体、および α -置換ビニル重合体例えばメチルメタクリレートおよびメチルアクリロニトリル、および相当する重合体があげられる。染料としては適当な吸収能を有し乾式法により容易に除去される任意の可溶性染料または染料の組合せであってもよい。例えばクマリンおよびその誘導体および相当するハロゲン化染料を使用でき、これはまた像形成可能な反射防止層を形成させるのに有効である。乾式エッチング像形成可能な反射防止層を形成させるのに有効である。乾式エッチング像形成性反射防止コーティングは歩留りを低下させ、コストを上昇させるようなよけいな処理段階を加えることなく、形状の制御に重大な進歩を加える。本発明は従来のホトレジスト材料および装置にそのまま適合する。

【0014】典型的には本発明により使用される染料は像形成性光源の波長領域で吸収するものである。染料は約1~20%の水準で反射防止コーティング中に包含さ*

- ・ボリ(ブテンスルホン)
- ・クマリン504(エクサイトン社製品)
- ・シクロベンタノン溶媒

を使用して標準スピニング法によって3インチアルミニウムシリコンウェーハに反射防止コーティングを2.0 μm の平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを140°Cで60分間焼付けしてコーティングによってホトレジスト(シップラーAZ 1370)でコーティングした。このホトレジストを95°Cで30分焼付けることによって硬化させた。製造されたウェーハをテスト解像パターンおよびコビルド(C

*せることができる。フィルム形成性ベヒクル例えば重合体は約3~20%の水準で存在させることができる。任意成分としての水溶性物質の添加は約0.1~10%の間の濃度でありうる。適当は潤滑剤、接着促進剤、保存剤、可塑剤および同様の添加剤を所望により適当な水準で包含させることができ溶媒を包含させて組成物を100%にすることができる。

【0015】本発明をたとえばスピニング法のような既知の基材コーティング技術で使用して約500~400 10 オングストロームのフィルム厚さを生成させることができる。フィルムは例えば約70°C~200°Cの既存の集積回路工程に適合する温度で焼付けることができる。焼付けられたフィルムは公知の方法でホトレジストでコーティングし焼付けることができる。ホトレジストの厚さはプロセスにより要求されるものとすることができる。次にこれらの層を既知の要求された波長の光に露光させる。フィルムは例えば約5秒~5分の間ホトレジスト現像液を使用して同時に現像させ、下にあるフィルムを短時間プラズマエッチングサイクルで例えば酸素プラズマ中でまたはその他の標準プラズマ法で約5秒~5分の間除去することができる。残りの集積回路素子工程は当技術分野に既知のようにして実施することができる。フィルムは標準ホトレジストクリーンアップ法により除去することができる。

【0016】
【発明の実施の形態】本発明は以下の実施例を参照してさらに理解されようが、これらの実施例は実施された多数の実験の中から説明の目的で選択されたものである。本発明により製造された像形成されたウェーハは電子顕微鏡で検査された。この検査の結果反射光により生ぜしめられた定在波効果が除去されていることが明らかになった。図1は本発明による反射防止コーティングを使用して湿式エッチングにより集積回路素子を製造するプロセスを示す。

【0017】図2はやはり本発明による反射防止コーティングを使用して乾式エッチングにより集積回路素子を製造するプロセスを示す。

実施例1

次の反射防止コーティング处方すなわち

8.00重量%

1.00重量%

残量

o b i l t) 密着プリンターを使用して像形成させた。像形成されたウェーハを20秒間シップラー(S h i p l e y) MF 312現像装置を使用して浸漬現像させた。露光ホトレジストは現像液により除去されシャープなきれいな画像を生成した。反射防止層を酸素プラズマ(0.2トル、100ワット、20秒)により除去した。一方、未露光ホトレジストはその厚さをほとんど現象することなく残留した。アルミニウム基材中に画像を

エッチングさせて集積回路層のシャープなパターンを生成させ、残存するホトレジストおよび反射防止コーティングを除去した。

実施例2

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリ(ブテンスルホン)	6.00重量%
・ハロゲン化染料クマリン540A	1.00重量%
・シクロペニタノン溶媒	残部

を使用して標準スピンドルコート法によって3インチアルミニウムシリコンウェーハに反射防止コーティングを1.5μmの平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを140°Cで60分間焼付けしてコーティングを硬化させた。このコーティングされたウェーハを冷却させ、スピンドルコート法によってホトレジスト(シップラーAZ1370)でコーティングし*

・ポリアミド酸(4、4'-オキシジアニリン およびピロメリット酸二無水物)	4.4%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン(後記溶媒中溶液)	0.45%
・スタンオレンジG(後記溶媒中溶液)	0.45%
・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部

を使用して標準スピンドルコート法によって3インチアルミニウムシリコンウェーハに反射防止コーティング1グを2000オングストロームの平均厚さでコーティングした。このコーティングしたウェーハを148°Cで30分間焼付けコーティングを硬化させた。このコーティングされたウェーハを冷却させ、スピンドルコート法によってホトレジスト(シップラーAZ1370)をコーティングした。このホトレジストを90°Cで30分焼付けによって硬化させた。製造されたウェーハをテス

ト解像パターンおよびコヒート密着プリンターを使用し※

・ポリアミド酸(1、6-ジアミノヘキサン およびベンゾフェノンテトラカルボン酸)	5%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン	0.45%
・スタンオレンジG	0.45%

・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部
-------------------------------	----

を使用して標準スピンドルコート法によって3インチシリコンウェーハに反射防止コーティングを1800オングストロームの平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを148°Cで30分間焼付けコーティングを硬化させた。このコーティングされたウェーハを冷却させ、スピンドルコート法によってホトレジスト(シップラーAZ1370)でコーティングした。このホトレジストを90°Cで30分焼き付けて硬化★

・ポリアミド酸(4、4'-オキシジアニリン およびピロメリット酸二無水物)	6.7%
・クルクミン	5.3%
・ポリビニルピロリドン(後記溶媒中)	1%
・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部

*た。このホトレジストを95°Cで30分焼付けて硬化させた。製造されたウェーハをテスト解像パターンおよびコヒート密着プリンターを使用して像形成させた。この像形成されたウェーハを20秒間シップラーAZ350現像装置を使用して浸漬現像させた。露光ホトレジストは現像液により除去され、シャープなきれいな画像を生成した。反射防止層を酸素プラズマ(0.2トル、100ワット、20秒)により除去した。一方、未露光ホトレジストはその厚さをほとんど減少することなく残留した。アルミニウム基材中に画像をエッチングして集積回路層のシャープなパターンを生成させ、次いで残存するホトレジストおよび反射防止コーティングを除去した。

実施例3

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミド酸(4、4'-オキシジアニリン およびピロメリット酸二無水物)	4.4%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン(後記溶媒中溶液)	0.45%
・スタンオレンジG(後記溶媒中溶液)	0.45%
・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部

※て像形成せしめた。像形成されたウェーハを10秒間シップラーMF312現像装置を使用して浸漬現像した。像形成されたホトレジストおよび反射防止層は現像液により除去され、シャープなきれいな画像を生成した。現像された像形成ウェーハのアルミニウムまでをエッチングして集積回路層のシャープなパターンを生成させ、残存するホトレジストおよび反射防止コーティングを除去した。

実施例4

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミド酸(1、6-ジアミノヘキサン およびベンゾフェノンテトラカルボン酸)	5%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン	0.45%
・スタンオレンジG	0.45%
・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部

★させた。製造されたウェーハをテスト解像パターンおよびコヒート密着プリンターを使用して像形成させた。像形成されたウェーハを30秒間シップラーMF312現像装置を使用して浸漬現像した。像形成されたホトレジストおよび反射防止像を現像液により除去し、シャープなきれいな画像を生成させた。

実施例5

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミド酸(4、4'-オキシジアニリン およびピロメリット酸二無水物)	6.7%
・クルクミン	5.3%
・ポリビニルピロリドン(後記溶媒中)	1%
・シクロヘキサンノン/N-メチル-2-ピロリドン(2:1)	残部

を使用して標準スピンコーティング法によって3インチアルミニウムシリコンウェーハに反射防止コーティングを5000オングストロームの平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを148°Cで30分間焼付けてコーティングを硬化させた。このコーティングされたウェーハを冷却させ、スピンコーティングによってホトレジスト（シップラーAZ1370）でコーティングした。このホトレジストを90°Cで30分焼付けして硬化させた。製造されたウェーハをテスト解像

バターンおよびコビルト密着プリンターを使用して像形¹⁰ 次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミド酸（2、4-ジアミノトルエン／ベンゾフェノンテトラカルボン酸二無水物）	5%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン（後記溶媒中溶液）	0.45%
・スタンオレンジG（後記溶媒中溶液）	0.45%
・シクロヘキサン／N-メチル-2-ピロリドン（2:1）	残部

を使用して標準スピンコーティング法も3インチアルミニウムシリコンウェーハに反射防止コーティングを2000オングストロームの平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを165°Cで30分間焼付けてコーティングを硬化させた。このコーティングさせたウェーハを冷却させ、スピンコーティングによってホトレジスト（シップラーAZ1370）でコーティングした。このホトレジストを90°Cで30分間焼付けて硬化した。製造されたウェーハをテスト解像バターンおよびコビルト密着プリンターを使用して像形成をせしめ[※]

・ポリアミン酸（2、4-ジアミノトルエンおよびベンゾフェノンテトラカルボン酸ジ無水物）	5%
・ビクシン	0.45%
・スタンオレンジG	0.45%
・シクロヘキサン／N-メチル-2-ピロドリン（2:1）	残部

を使用して標準スピンコーティング法で3インチシリコンウェーハに反射防止コーティングを2000オングストロームの平均厚さにコーティングした。このコーティングしたウェーハを165°Cで30分間焼付けてコーティングを硬化させた。このコーティングさせたウェーハを冷却させそしてスピンコーティングによってホトレジスト（シップラーAZ1370）でコーティングした。このホトレジストを90°Cで30分焼付けて硬化した。製造されたウェーハをテスト解像バターンおよびコビルト密着プリンターを使用して像形成せしめた。像形成されたウェーハを20秒間シップラーMF312現像装置を使用して含浸現像した。像形成されたホトレジストお

*成せしめた。像形成されたウェーハを13秒間シップラーMF312現像装置を使用して含浸現像した。像形成せしめたホトレジストおよび反射防止層を現像液により除去し、シャープなきれいな画像を生成させた。

【0018】現像および画像形成されたウェーハをアルミニウム中までエッティングして集積回路層のシャープなバターンを生成させ、残存するホトレジストおよび反射防止コーティングを除去した。

実施例6

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミド酸（2、4-ジアミノトルエン／ベンゾフェノンテトラカルボン酸二無水物）	5%
・クルクミン	3.56%
・ビクシン（後記溶媒中溶液）	0.45%
・スタンオレンジG（後記溶媒中溶液）	0.45%
・シクロヘキサン／N-メチル-2-ピロリドン（2:1）	残部

※た。像形成されたウェーハを20秒間シップラーMF312現像装置を使用して含浸現像した。像形成されたホトレジストおよび反射防止層を現像液により除去し、シャープなきれいな画像を生成せしめた。

【0019】現像された像形成ウェーハをアルミニウム中までエッティングさせて集積回路層のシャープなバターンを生成させそして残存するホトレジストおよび反射防止コーティングを除去した。

実施例7

次の反射防止コーティング処方すなわち

・ポリアミン酸（2、4-ジアミノトルエンおよびベンゾフェノンテトラカルボン酸ジ無水物）	5%
・ビクシン	0.45%
・スタンオレンジG	0.45%
・シクロヘキサン／N-メチル-2-ピロドリン（2:1）	残部

および反射防止層を現像液により除去してそしてシャープなきれいな画像を生成せしめた。

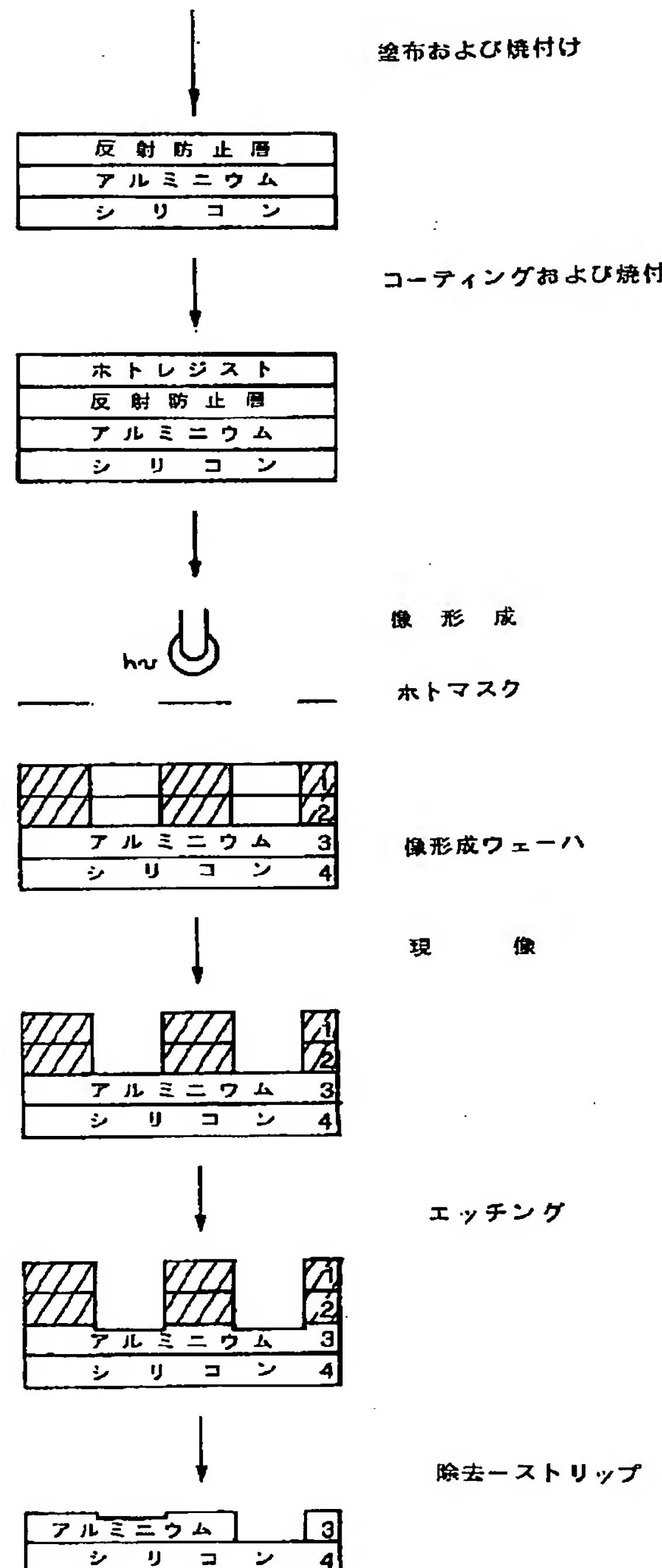
【0020】本明細書に開示された本発明の変形を本発明の精神から逸脱することなしになし得ることを当業者は理解するであろう。本発明は本明細書に開示された具体例により限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による像形成可能な反射防止コーティングを使用する集積回路エレメントの製造のためのプロセスフローシートである。

【図2】乾式エッティングを使用する改変された工程段階を示すフローシートである。

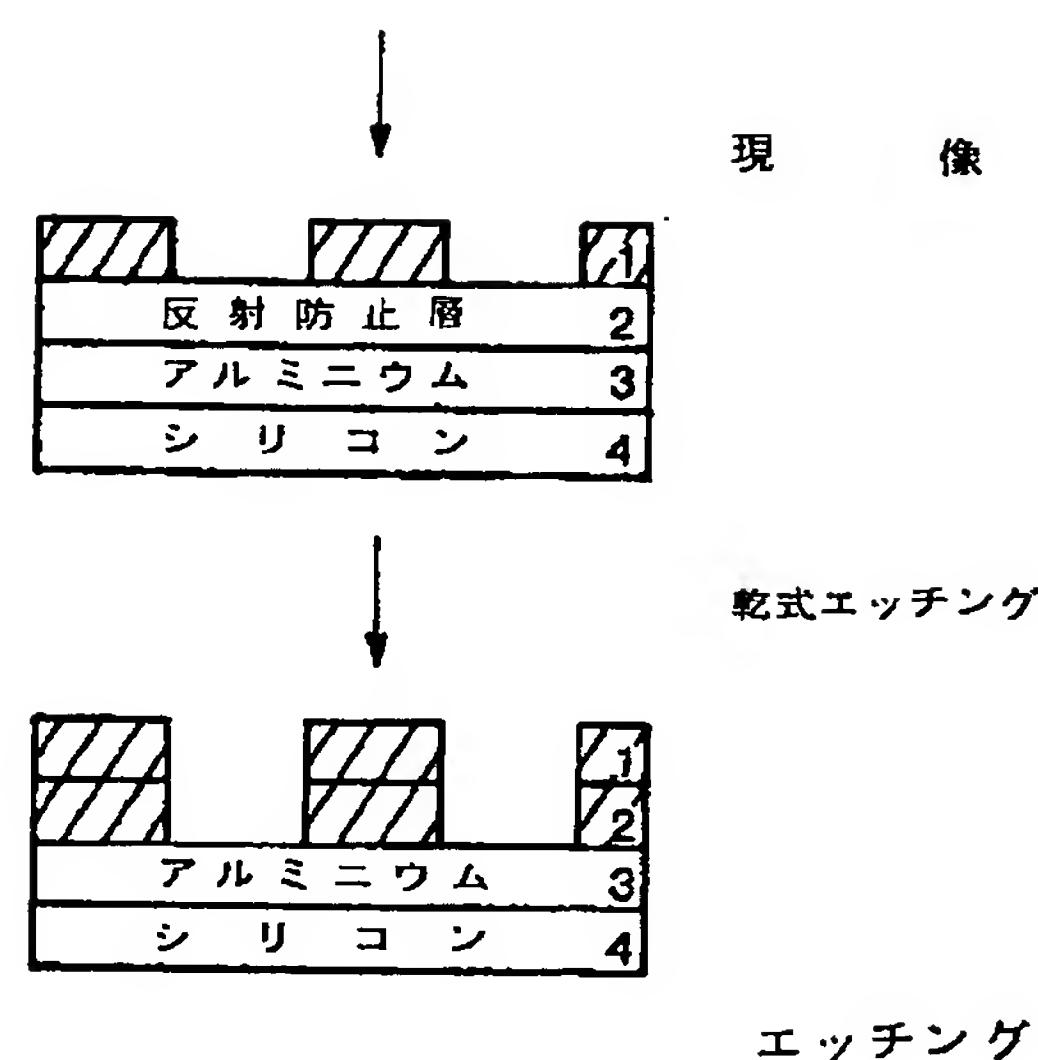
【図1】



(8)

特開平9-120163

【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 スマリー・ブンヤクムリアード
アメリカ合衆国 ミズーリ州65401 ロー
ラ. ナゴガミテラス 241